

わたしたちの奄美、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Amami's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ 鹿児島県 外来種 🔍検索

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



奄美群島にお住まいの方向け

ニホンスツポン 防除マニュアル



ニホンスツポンは鹿児島県に影響を及ぼしており、防除対策について検討が必要な種とする「重要防除種」として選定されています。



ニホンスッポンってこんな生き物

ニホンスッポン

学名：Pelodiscus sinensis

科名：スッポン科 ▶ 日本本土、中国大陸
 分布：屋久島、奄美大島、喜界島、徳之島
 環境省カテゴリー：重点対策外来種
 鹿児島県カテゴリー：重要防除種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動												
かごわな												



形態

甲長は25～30cm。背甲(はいこう)は柔らかな皮膚に覆われ、他のカメのような固い甲羅ではありません。また、背甲は円に近い楕円形で鼻の先端が突出しています。

生態

食性は肉食性の強い雑食で、魚類、両生類(カエル)、昆虫類、貝類など、多様な動物を捕食します。日光浴を行うこともあります。産卵時以外は水辺から離れません。

繁殖

交尾は4月～6月で産卵は6月上旬～8月下旬に行います。孵化までの日数は40～80日、平均60日程度であり、1回の産卵数は10～40個です。メスは地面に穴を掘り、球形の卵を産出します。



ニホンスッポンによる影響

屋久島、奄美大島、喜界島、徳之島において捕食を通じた無脊椎動物、魚類への影響が考えられます。また、自然分布域における、養殖個体による在来野生個体群の遺伝的かく乱が考えられます。

ニホンスッポンの防除方法

ここを
チェック!

主な生息地

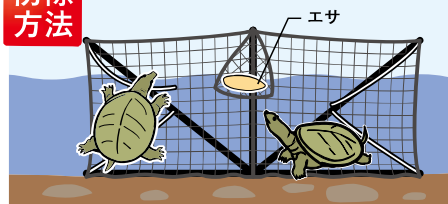
ほぼ完全に水生で河川の中・下流域や池、湖沼などに生息

かごわな

時期 ● 4～11月

防除方法

※スッポンが息つきできるように罟の上部は水から出しましょう。



肉や魚の切り身等をエサにしたかご罟を水中に沈め、1日程度設置した後、引き上げて、中に入ったニホンスッポンを回収する。在来のカメ(ニホンイシガメ等)が入っていた場合は逃がしましょう。また、「釣り」や「たも網」でも捕獲・防除することができます。なお、咬む力が強いので、捕獲の際は咬まれないように注意しましょう。

注意事項

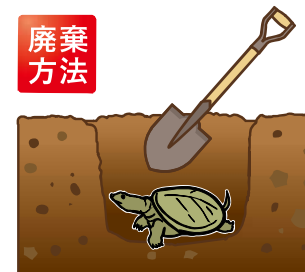
※カメ類は肺呼吸を行います。罟が完全に水に沈んでいると溺死してしまいます。かご罟は完全に沈まないように注意しましょう。

※かご罟の設置については、許可が必要な場合があります。各地方自治体等に確認を行ってください。

根絶までの流れ

一年に数回罟を設置し防除を行います。その後、罟を設置した場所やその周辺を確認し、ニホンスッポンが見つかった場合は、再度罟を設置し防除を行います。また、確認されなかった場合でも定期的に確認を行いましょう。

廃棄方法



ビニール袋に入れて冷凍した後、土に埋めるなどして廃棄しましょう。また、一般廃棄物として燃えるゴミに出しても良いです。

※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

よく似た在来種

間違えないように
家を確認しましょう



ニホンイシガメ

淡水性のカメで日本固有種である。甲長は約14～21cm。背甲は暗褐色で不明瞭な雲状紋があり、腹甲は一様に黒褐色である。頭部背面は黄褐色である。甲羅の後端がのこぎり状になっており、首に模様がなく、四肢にオレンジの模様がある。